



日本初の国際放送77周年記念

「ほぼ満月ただのお月見@検見川送信所」

日時:07年10月27日(土)午後3時～

集合:はなのわ広場(JR新検見川駅徒歩2分,千葉市花見川区花園1-6-7)

参加費:無料



15:00～16:00 建築関係者、送信所OBによる講演(はなのわ広場)

16:15～17:30 建築関係者、送信所のガイドによる現地見学会(徒歩で移動後、跡地にて)

その後、懇親会(実費ご負担ください)を予定

※タイムスケジュールは変更になる場合もあります。途中参加も可能です。

●日本初の国際放送の地、近代建築としての貴重価値

検見川無線送信所は今から77年前の1930年(昭和5年)10月27日夜、ロンドン海軍軍縮条約締結を記念した浜口雄幸首相のラジオ演説をサンフランシスコに届けました。これが日本初の本格的な国際放送となりました。建物の設計は東京中央郵便局、大阪中央郵便局などを手がけた”日本の通信建築の父”吉田鉄郎氏。1926年(大正15年)の完成当時は、その美しさから「白亜の局舎」と言われました。このような大正末期のコンクリート建築は千葉市内には残っていませんが、現在は中学校予定地とされ、将来は取り壊しの方針で進んでいます。

主催:「検見川送信所を知る会」

問い合わせ:043-276-0444(代表・仲佐秀雄)